

こうち福祉だより

355号
平成29年3月
(2017年3月)
河内地区社会
福祉協議会発行

今後の「介護保険制度について」

平成12年からスタートした介護保険制度も今年で17年が経ちます。介護保険制度は5年ごとの法律の改正、また3年ごとの介護報酬と介護認定の見直しが行われてきました。

介護保険サービスを利用されてきている方も増え、その経費は右肩上がりになっています。平成12年当初は年金から天引きされる介護保険料は全国平均で2900円程度でした。3年ごとに保険料の見直しが行われ、広島市では現在5868円程度(全国平均5514円)です。団塊の世代の方が75歳以上になる平成37年には9200円程度(全国平均8200円)になると予想され、保険料の負担が増え続けます。最近、地域の人から軽度者(要支援1・2、要介護1)の方は介護保険サービスを使えなくなるの?とよく聞かれます。また、すでに少子高齢化が進展し、認知症の高齢者や単身世帯の高齢者も増加傾向にあり、地域の住民同士のつながりも希薄になりつつあるなど変化してきていま

す。また、平均寿命と健康寿命の差も広島市は全国平均よりも長いいため、この差を縮小し、できるだけ長く健康でいられることが今後の課題です。そのため、地域全体で助け合うことがより重要となってきました。その他、介護保険法改正により広島市では平成29年4月1日より「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まります。これは要支援1・2の人が利用していた訪問介護(ヘルパー)と通所介護(デイサービス)が、全国一律のサービスから広島市の基準によるサービスに変わります。また、訪問介護・通所介護のみを利用する場合は、介護保険の申請をせずに「基本チェックリスト」による判定を受けることにより、地域包括支援センターが状況を確認し、その結果で、迅速にサービスが利用できます。

住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることを目的に一人ひとりの目標や状態にあったサービスを提供します。詳しいことは、三和地域包括支援センターまでお気軽にご相談ください。

三和地域包括支援センター
センター長 久保田 竜二
☎082(926)0025

芸能祭を終えて

芸能きらめくまち…こうち
2月12日午後1時より河内地区芸能祭が開催されました。

この芸能祭は日頃公民館等で活動しているグループ、児童館、小学校の子供達、芸能保存会、民謡グループとカラオケ等地区芸能文化の発表の場です。

当日は120人以上の皆様の来場のもと熱演が始まりました。河内小学校5年生による「カントリロード」の素晴らしいソプラノ合唱から始まり、カラオケ、大正琴、舞踊、空手演武、木遣り音頭、手品等出演者の熱演があり最後は太鼓団の迫力の演奏で終了しました。出演者、観客一体となった素晴らしい芸能祭となりました。

盛況の裏には2ヶ月前から計画、打合せ、出演者募集、会場作り、会場運営など行った公民館、コミュニティ協議会の皆さん、地区の有志の方々の奉仕がありました。大変お世話になりました。



木遣り音頭保存会の方々です

芸能祭が河内地区の文化を共有し育て、又、地域のコミュニティの活性化に繋がっていることを感じました。

今後の課題としては若い世代の参加者を増やし幅広い年代が参加する行事となればより素晴らしいものとなるのではないかと思います。

実行委員長 山田 茂雄



演奏後、新しいハーモニカを手入れされる岡野さん

3月の行事

- 6日(月) 売却資源・ゴミ収集日
- 7日(火) 転倒予防教室(魚切)
- 8日(水) お元氣プロジェクト(下城)
- 9日(木) 健康講座(白川)
- 10日(金) まごころ弁当
- 14日(火) 健康講座(野登呂)
- 15日(水) お元氣プロジェクト(下城)
- 16日(木) 社協部長会・会報委員会
- 20日(月) 正しい歩き方講座
- 21日(火) 売却資源・ゴミ収集日
- 22日(水) 転倒予防教室(魚切)
- 24日(金) お元氣プロジェクト(下城)
- 25日(土) 編集会議
- 28日(火) まごころ弁当
- 29日(水) 健康ウォーキング会
- 30日(木) 転倒予防教室(魚切)
- 31日(金) お元氣プロジェクト(下城)

ほっとサロン

20日(月)は、祝日でお休みです。

